

米原市学校施設長寿命化計画

(概要版)

平成 29 年 3 月策定

(令和4年5月変更)

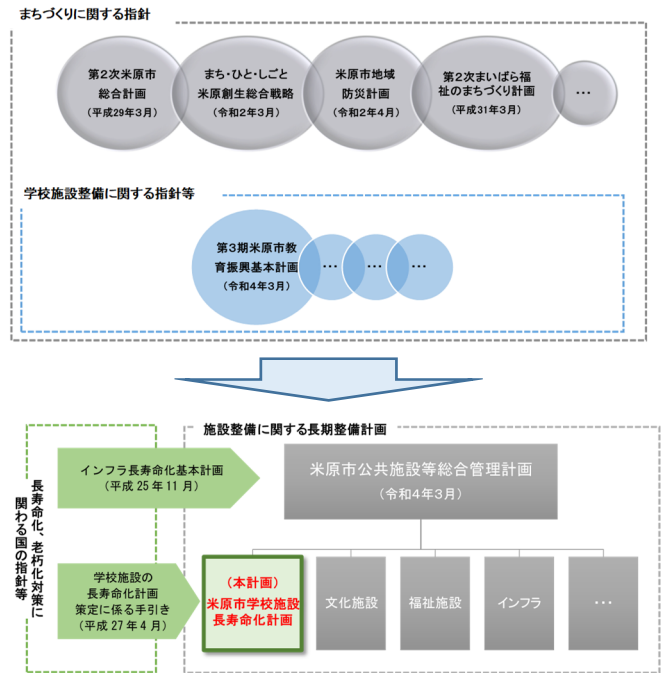
米原市教育委員会

1 目的と位置付け

本計画は、今後、学校施設が一斉に大規模改修や建替時期を迎えるため、長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減および予算の平準化を図り、教育環境の質的改善、防災機能の強化、バリアフリー対策などと併せて施設整備を実施することにより学校施設を長寿命化し、再生整備することを目的とし、平成29年6月に策定したものです。

本計画では、国の学校施設環境改善交付金の長寿命化改良事業の採択を前提に中長期計画を策定していましたが、令和2年度に当該事業に予防改修事業が創設されたことを受け、対象となる学校について、今後の改修計画を検討し、必要な修正を行うものです。

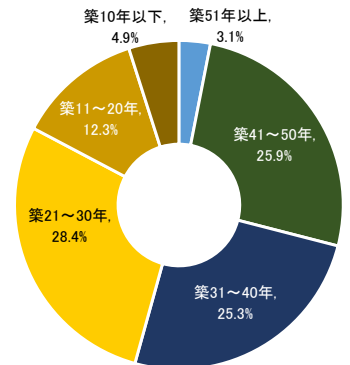
【本計画の位置付け】



2 学校施設を取り巻く現状と課題

(1) 経年別の整備状況

対象施設は、小学校9校、中学校6校（約170棟、約8.4万㎡）で、床面積を築年数別にみると、**築30年以上経過した施設が半数以上**を占め、大規模な改修を必要とする時期を迎えています。



(2) 年少人口減少の影響

児童生徒1人当たりの校舎等の床面積は、約40年前は2㎡/人であったのに対し、年少人口減少の影響により近年（令和3年4月時の実態調査）では17.4㎡/人で約9倍となっており、空き教室や維持管理費用の増大を招いている状況です。

(3) 老朽化の状況

老朽化の実態把握を行うために、当初計画の策定時には、市内の小中学校15校の全項目を調査し、今回の見直しに当たっては、市内の小学校5校（柏原、山東、大原、米原、河南）、中学校3校（大東、米原、河南）の屋根・屋上、外壁等について目視、打診などによる現地調査を行いました。

- 屋上：アスファルト防水や金属屋根の一部では劣化が進行している。
- 外壁：外壁のクラックや汚れ、塗装の膨れなどが目立つ。
- 内装：木製の床や家具は割れや塗装のはがれなどが見られ、天井には雨漏り跡が見られる施設がある。
- 屋内運動場：外壁の劣化が見られる。



【屋上の劣化状況】



【外壁の劣化状況】



【屋内運動場（外壁）の劣化状況】



【内部（床）の劣化状況】

3 整備計画の基本方針

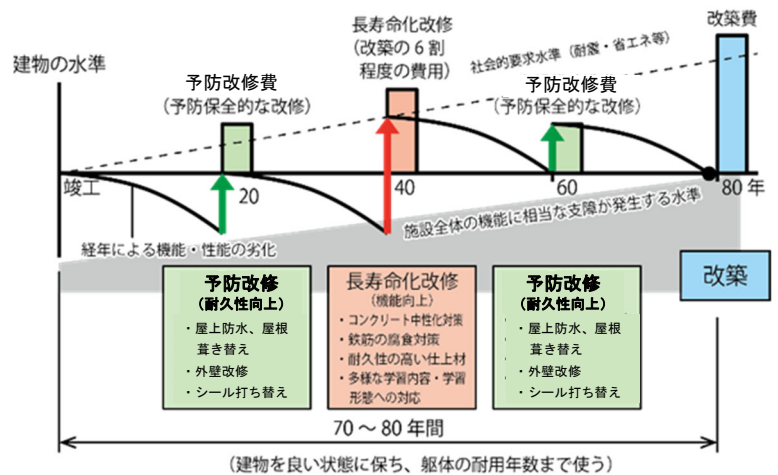
(1) 事後保全型から予防保全型へ

“予防保全”の考えに基づき、あらかじめ予防保全改修・長寿命化改修・改築の条件を定め、中長期の見通しを立てることで、計画的かつ統括的な学校施設の維持管理につなげます。

(2) 目標使用年数

適切な維持保全と長寿命化改修を実施することで、学校施設の目標使用年数を80年と定めます。

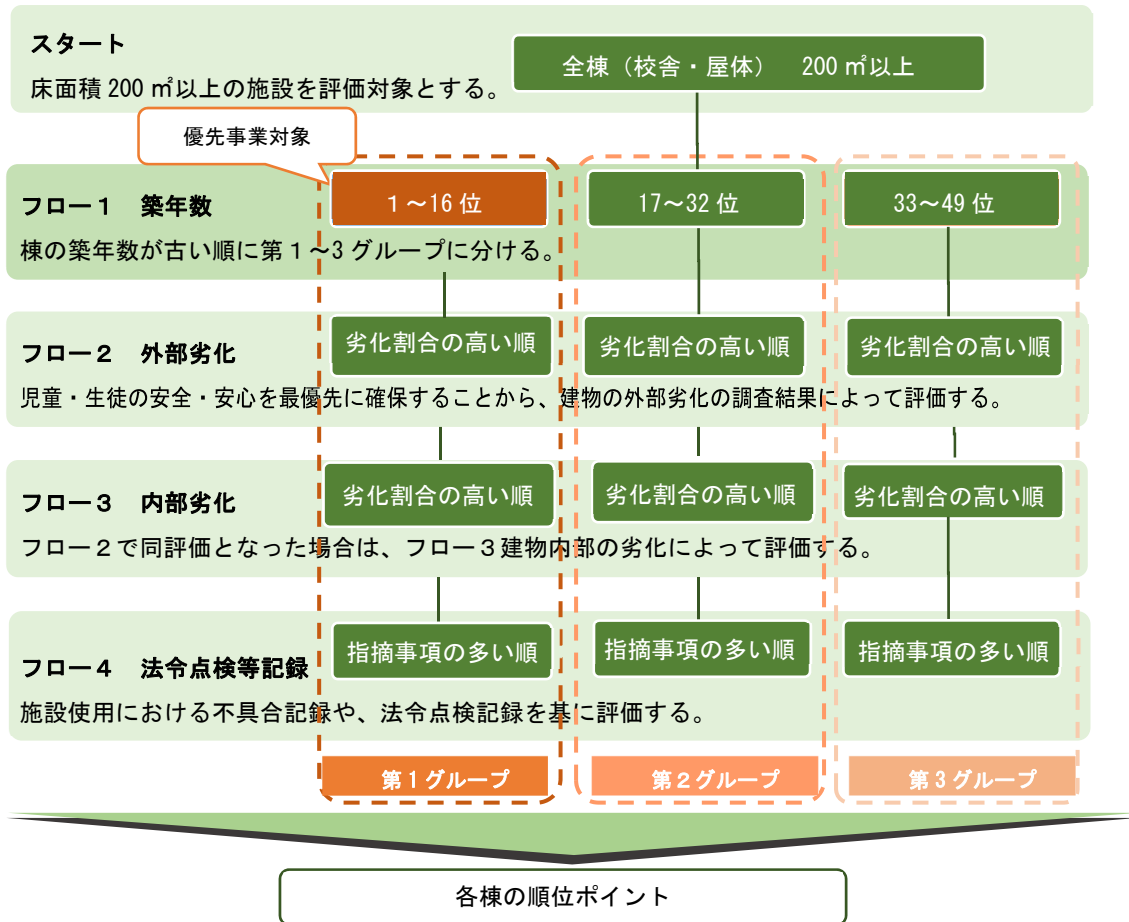
【長寿命化改修のイメージ】



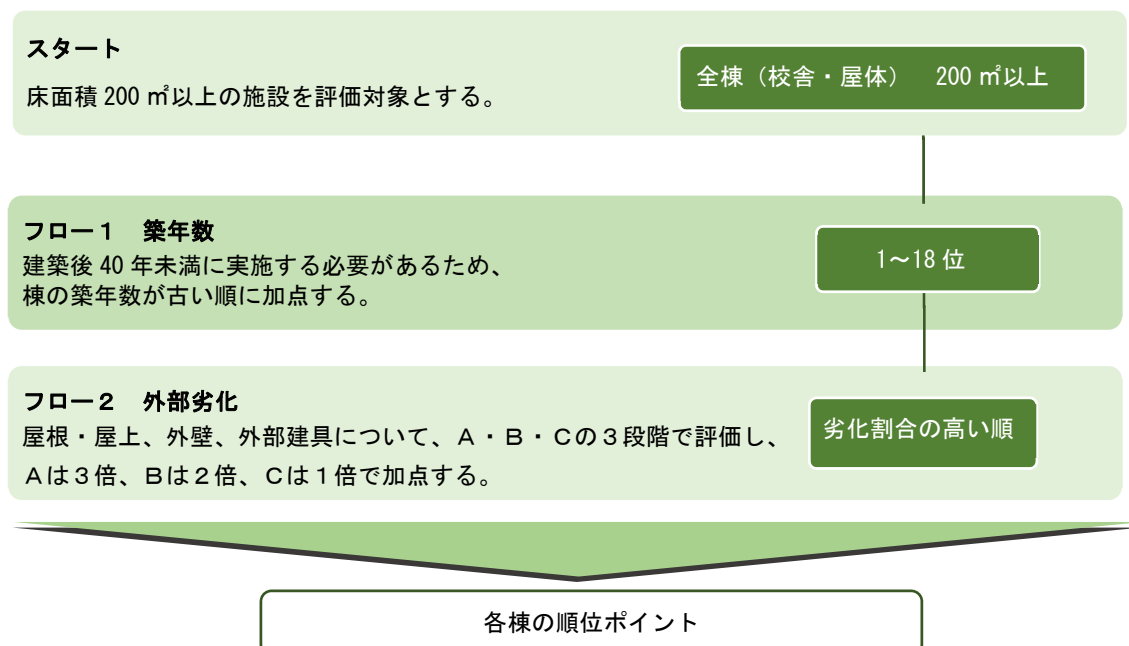
(3) 整備計画フロー

建築年度を確認し、新耐震基準以降であれば老朽度評価を行い、築40年以上の施設を長寿命化改修の対象とし、旧耐震基準以前であれば、躯体の状態（コンクリート強度や中性化）などを評価し、長寿命化改修が可能かどうか判断します。

【老朽度評価検討フロー（長寿命化改修）】



【老朽度評価検討フロー（予防改修）】



(4) 老朽化調査と評価

建物の老朽度の評価を行うために、各棟の老朽化調査を行い、棟ごとの評価を行います。

児童・生徒が安全安心かつ快適に生活を送ることができる環境を確保するため、築年数と外部劣化を優先して評価します。

4 整備年次計画の策定

今後の整備の年次計画は、老朽度評価による優先順位を基に、近年の大規模な施設整備の実施状況などを考慮した上で総合的に判断します。長寿命化改修と予防改修の整備計画について、優先順位の高い上位3校をそれぞれ以下に示します。

長寿命化改修優先順位

順位	学校名	棟名	構造	建築年	経年	備考
1	双葉中学校	特別教室棟	R	昭和48年	48	令和元年に長寿命化Ⅰ期工事を実施。 令和2年に長寿命化Ⅱ期工事を実施。
		中央棟	//	//	//	
		普通教室棟1	//	//	//	
		普通教室棟2	//	//	//	
		技術教室棟	S	//	//	
		普通教室棟3	R	昭和60年	36	
		ICT教室棟	//	平成4年	29	
2	坂田小学校	普通教室棟	//	昭和53年	43	平成25年に校舎とトイレを増築、 平成26年に空調設置、平成29年 にスロープ設置を実施。
		管理特別教室棟	//	//	//	
		昇降棟	//	//	//	
		普通教室棟	//	平成10年	23	
		普通教室棟	S	平成26年	7	
3	息長小学校	管理特別教室棟	R	昭和51年	45	平成27年にトイレ改修を実施。
		普通教室棟	//	//	//	
		昇降棟	//	//	//	

予防改修優先順位

順位	学校名	棟名	構造	建築年	経年	備考
1	米原小学校	図書室	R	昭和61年	35	平成26年に空調設置、平成27年 にトイレ改修、平成30年に体育館 照明改修を実施。
		校舎棟	//	//	//	
		校舎棟	//	//	//	
		管理棟・校舎棟	//	//	//	
2	大東中学校	普通教室・管理棟	//	昭和59年	37	平成25年にエレベータ設置、平成 27年に空調設置、非構造部材耐震、 平成28年にトイレ改修、平成30年 に体育館照明改修を実施。
		特別教室棟	//	//	//	
		金工・木工室	S	//	//	
3	柏原小学校	普通教室棟	R	昭和63年	33	平成24年にエレベータ設置、平成 26年に空調設置、平成28年にトイ レ改修を実施。
		管理特別教室棟	//	//	//	
		昇降口廊下棟	//	//	//	

5 財源

■長寿命化改修事業（長寿命化事業）

概要	従来、改築（建替え）していた老朽施設の再生を図るため、構造体の長寿命化やライフラインの更新等により建物の耐久性を高めるとともに、省エネ化や多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供等現代の社会的要請に応じる改修
補助要件	構造体の劣化対策を要する建築後 40 年以上経過した建物で、今後 30 年以上使用する予定のもの
対象建物	校舎、屋内運動場、寄宿舎
算定割合	1/3（地方財政措置により、地方自治体の実質的な負担割合は 26.7%）
地方財政措置	公立学校施設整備費により長寿命化改修事業や改築事業を実施した場合の地方負担分 充当率 90%、交付税算入率 60%

■長寿命化改修事業（予防改修事業）

概要	建物の長寿命化を図るための予防的な外部改修工事、その他長寿命化に資する工事
補助要件	建築後 20 年以上 40 年未満である建物、又は長寿命化改良後 20 年以上経過した建物
対象建物	校舎、屋内運動場、寄宿舎
算定割合	1/3（地方財政措置により、地方自治体の実質的な負担割合は 26.7%）
地方財政措置	公立学校施設整備費により長寿命化改修事業や改築事業を実施した場合の地方負担分 充当率 90%、交付税算入率 60%

6 長寿命化改修のイメージ

(1) 長寿命化改修の教育上の効果

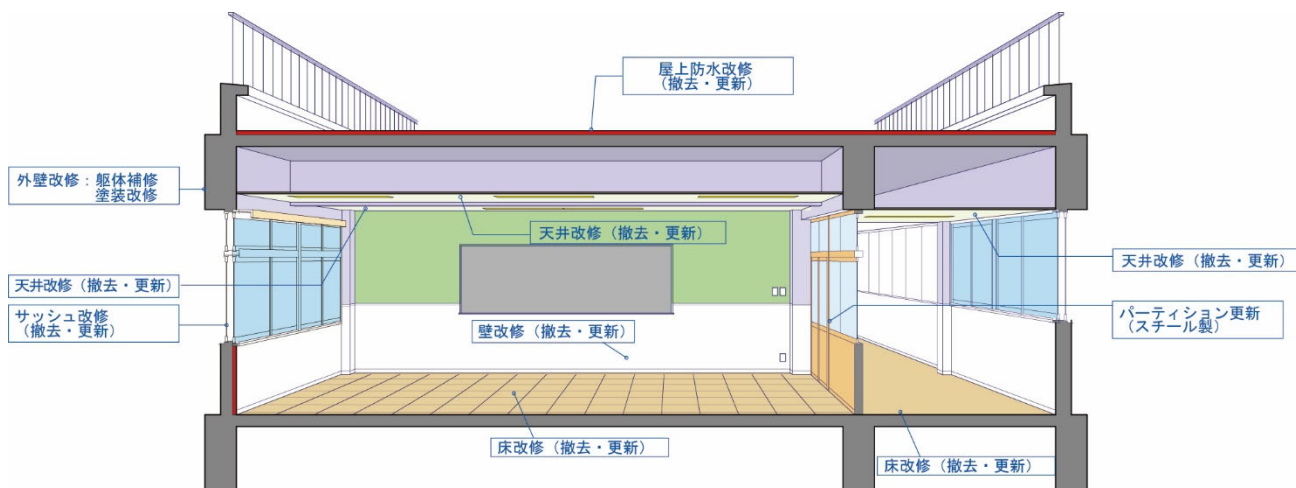
コンクリート躯体や外壁の健全度の増強、内外装・設備・断熱・バリアフリー・トイレなどの全面改修による安全・安心の確保、学習環境の向上。

(2) 長寿命化改修の財政面での効果

長寿命化改修の導入により、総事業費の縮減と年間事業費の低減を実現。



【長寿命化改修による学習環境の向上】



【改修工事のイメージ】

